

(6) 工場内の使用語彙・理解語彙の結果

以下は、観察調査によってえられた収集した文書、資料をもとに語彙を抽出し、NTT作成の語彙特性データ※（親密度※※）、単語を構成する漢字の情報を追加したものである。

①語彙

語彙抽出のもとにした資料は、各作業エリアにあるホワイトボードの掲示物や記述物、朝礼配布物、工場内掲示板の掲示物、工場内表示物、発注票や伝票等の移動文書である。抽出語彙の中から、作業に必要な語という観点で録音調査の文字化資料と照合し、読み、書き、聞き、話しに共通する語彙を選定した。したがって、挨拶などの日常会話に必要な語は抽出していない。また、選定した語彙は、工場内で駆使する必要がある語、理解のみ必要な語や、工場全体で必要な語、担当する作業エリアで必要な語などがあるが、今後、日本語教育カリキュラムを作成する際に検討する情報として、今回はそれらの情報は加えていない。

※三省堂-NTTデータベースシリーズ 日本語の語彙特性<http://www.sanseido-publ.co.jp/publ/ntt_database.html>

※※親密度（音／文字）とは、単語を音声で聞いた場合、文字で見た場合、その反応速度の違い・速いを7段階評定値（0～7）で示し、親密度としたものの。未記入は、該当データなしを表す。

語彙等	用語例				NTT 語彙特性 親密度:音/字	備考	構成 漢字	特 殊
マーク								
※					-	-		
済					-	-		
禁					-	-		
秘					-	-		
英語								
C	C テーブル				-	-		○
M	M トレイ				-	-		○
R	R 軸				-	-		○
Q	Q コード				-	-		○
X	X 軸	X 方向			-	-		○

エア (エアー)	エアターミナル	エアマット	エアもれ	エアシャワー	4. 057	4. 032			
エイジング									○
エラー					5. 343	5. 129			
エリア					4. 343	4. 355			
オーダー	オーダーR568911				4. 743	4. 742			
オート	オートマウント				3. 857	4. 71			
オートコリ									○
オフ					4. 886	4. 774			
オブション					3. 829	3. 935			
カート	ダストカート				4. 743	4. 516			
ガイド					5. 086	4. 903			
カバー					5. 114	5. 129			
カメラ	カメラサブ	サイトビューカメラ		マルチカメラ	6. 629	6. 419			
ガラス					6. 286	6. 194			
ガレキ									
カレンダー	IM カレンダー				6. 286	6. 452			
クリーニング					5. 714	5. 581			
クリーン									
グリス									
グループ					5. 114	4. 935			
クレーム					4. 714	4. 379			
クレーン					5. 457	5. 29			
ケープル					4. 314	4. 548			
ケット									○
コート					6. 257	5. 968			

コード	認証コード	該当コード	処理コード	理由コード	5. 171	4. 29			
コール	コールオフ				4. 2	4. 129			
コップ	紙コップ				6. 257	6. 258			
コネクタ									
コピー	裏コピー				5. 714	5. 742			
ゴミ					6. 114	5. 581			
コメント					5. 057	4. 581			
コンセント					5. 686	5. 613			
コンテナ (一)					3. 886	3. 645			
コンデンサ									
コントロール									
コントロール	コントロールボックス				4. 6	4. 548			
コンプライアンス									
コンベア					4. 147	4. 71	*ヤー		
サーモ	サーモコントローラー								
サイクル	サイクル停止				4. 743	4. 065			
サイト									
サブ	メカサブ	カメラサブ	ヘッドサブ		4. 257	4. 161			○
サブライ	パワーサブライ								
シート	チェックシート				5. 4	4. 968			
シール					5. 971	5. 968			
シマーシヤル									○
シヤフト					3. 333	3. 367			
シヤワー					6. 486	6. 387			
シュレツダー					4. 382	5. 233			

リスク								4. 657	4. 484				
リスト	連絡リスト							4. 829	4. 548				
リファレンス	ローリスト												
リフト	ハンドリフト							5. 371	5. 355				
ルーム													
レイアウト								4. 229	4. 161				
レール								5. 514	5. 3				
レギュレーター													○
レッスン								5	4. 742				
レンチ	六角レンチ												
ロー	ローリスト							4. 371	z				
ローズ	ローズレース							5. 057	5. 161				
ワイヤー								4. 382	4. 833				
特殊語													
赤	赤ペン							6	5. 871		赤		○
黄	黄ペン										黄		○
白	白ペン							6. 029	5. 71		白		○
黒								5. 8	5. 548		黒		○
漢字構成語													
空(き)	空(き)箱							4. 571	3. 968		空		
安全	交通安全	安全第一	安全心得	安全セミナー				4. 571	4. 29		安全		
以外								3. 857			以外		
移管											移管		
行先	行先表示							4. 4	3. 839		行先		
異常	異常停止							4. 429	4. 129		異常		

板	板バネ	揭示版					5. 371	5. 452	板	
位置	定位置						4. 314	4	位置	
一連							3. 514	3. 226	一	
一括	一括台車						3. 8	3. 742	括	
一般	一般用紙						4. 343	3. 903	般	
一品 (いっぴん)							4. 029	4	品	
移動							4. 543	4. 516	動	
意味							4. 314	3. 839	意	
依頼	依頼部署	依頼書					4. 343	4. 129	依	
印刷	印刷機						4. 771	4. 968	印	
印字							4. 229	3. 323	字	
飲料	飲料缶						4. 886	4. 2	飲	
後ろ	後側						4. 886	4. 677	後	
裏	裏コピー	裏側					4. 743	4. 613	裏	
運転	自動運転						5. 429	4. 968	運	
運搬							4. 2	4. 097	搬	
応援							5. 086	4. 871	応	
応接							3. 857	3. 452	接	
大型	大型電気工程						4. 657	4. 516	大	
置き場	台車置き場						4. 143	3. 968	場	
お客様									客	
奥							4. 6	4. 387	奥	
音 (おと)							5. 371	4. 839	音	
表 (おもて)	表側						4. 657		表	
温度	温度表示器						5. 029	4. 258	温	

完成									4. 743	4. 29	完	成
管理	工程管理	工程管理票							4. 171	4. 097		理
完了									4. 514			了
機械									4. 686	4. 645	機	械
着替え									4. 714	5	着	替
機器									4. 114			器
危険									4. 771	4. 645	危	険
機種	全機種								3. 8	4. 29		種
基準	形式基準								4. 171	3. 806	基	準
傷									5. 343	5. 129	*キズ	傷
起動									4. 057		起	
記入	記入者								4. 429	4. 452		入
基板												
基盤									4. 029	3. 935		盤
吸音	吸音材										吸	
休暇									4. 943	4. 419	休	暇
休憩	休憩室								4. 914	4. 774		憩
給茶	給茶器										給	茶
吸着									3. 886	3. 581		
給湯	給湯室								4. 486	3. 516		湯
給料	給料日								5. 057	4. 903		
供給	現品供給	部品供給	供給停止	供給者					4	3. 968	供	
許可	不許可								4. 257	4. 258	許	
記録									4. 6	4. 129		録
禁止	土足禁止								4. 771	4. 387	禁	止

定食									5. 029	4. 484					
出口									5. 286	5				口	
出しろ															○
手順									4. 257	3. 935					
電気									4. 971	4. 677				気	
点検									4. 571	4. 323				点	
電源									4. 857	4. 4				源	
電子									3. 714	3. 161					
電池									6. 057	5. 839				池	
転倒									4. 686	4. 484				倒	
電話									6. 314	6. 419				話	
同梱														同	
動作									4. 543	4. 129					
搭載									3. 8	3. 323				搭 載	
特注									3. 943	4. 032				特	
土足									5. 057	4. 5				土 足	
途中									4. 4	4. 194				途	
内容									4. 286	3. 903				内 容	
中身									4. 314	4. 29				身	
斜め									4. 971	4. 806				斜	
名前									5. 514	4. 839				前	
入力									4. 4	4. 258				力	
認証									3. 229	2. 968					
抜き打ち									4. 143	4. 258				抜	
願い									4. 714	4. 323				願	

標準	外形標準						4. 286	3. 935	標	
昼休み							5. 229	4. 935	屋	
品質							3. 829	3. 742	質	
頻度							3. 914	3. 742	頻	
品番										
品証										
不可							3. 943	3. 871	不	
不具合							3. 514	3. 133		
複合	複合製品						3. 829	3. 581	複	
部署	依頼部署						3. 657	3. 6	部	
不燃							4	3. 452		
部品	部品供給				戻し部品		4. 4	4. 419		
不良	不良排除						5. 086	4. 839	良	
ふるい	ふるい停止				ふるい分級		4. 8	4. 581		
分別							4. 057	3. 516		
平面							4. 4	4. 355	平	
返却							4. 771	4. 323	返却	
変更							4. 343	3. 871	変更	
弁当							5. 914	5. 903	弁当	
方向	Y 方向				X 方向		4. 486	4. 097	方	
報告	報告書						4. 543	4. 258		
帽子							6. 114	6. 29	帽	
防止							4. 314		防	
方法	実施方法						4. 4	3. 871	法	
保護	保護解除						4. 371	4. 097	保	

理由	理由コード							4. 514	4. 097		由
流出								4. 343	4. 226	流	
量	発生量							3. 914			
両面								4. 629	4. 161	両	
連絡	要連絡							4. 686	4. 548	絡	
六角	六角レンチ							4. 257	4. 129	六	
漢字構成語以外											
打ち上げる	打ち上げ							4. 686	4. 419		
起きる								5. 057	5. 065		
降ろす								4. 657	4. 613	降	
貸し出す	貸出し							4. 743	4. 419	貸	
貸す								4. 886	4. 452		
傾く	傾き							4. 657	4. 71	傾	
必ず								4. 171	4		
ください											
組み立てる	組立て							4. 743	4. 387	*組立	
組み付ける	組付け										
声を出す	声出し									声	
締める	本締め					不締まり		4. 4			
調べる	調べ					締まり		4. 914	4. 581		
捨てる	捨て箱							5. 171	4. 871	捨	
使い終わる											
つなぐ								4. 829	4. 484		
出る	出ない					出にくい		4. 714	4. 581		
届ける	届け					休暇届		4. 6	4. 484	届	

～件	数字＋件	～の件				3. 371				
～号館	5 号館									館
～様 (さま)	お客様					3. 771	3. 387			
～残 (ざん)							2. 867			
～順						4. 143	3. 839			
～書	報告書	文書								
～済 (すみ)	インストール済み					3. 886			済	
～値 (ち)	数値	判定値	標準値			3. 086	3. 742			
～度	60 度					3. 743	3. 387			
～等 (とう)						3. 471	2. 968	*など	等	
～票	伝票	現品票	管理票			4. 257			票	
～表 (ひょう)	記録表	指導表					4. 387			
～品 (ひん)	誤品	ASSY 品	同梱品	単品	品		3. 581			
～用						4. 057	3. 806			
漢字語:396 カタカナ語:170		漢字:414								

②漢字

前項①の語彙を構成する漢字は、414字である。下表は、この414字を左から高頻度順に並べたものである。頻度情報のもととしたのは、月刊雑誌70誌の本文200万字分を調査対象とした国立国語研究所の「現代雑誌200万字言語調査」の語彙データである。照合の際、読み方は考慮しなかった。

照合した結果、上位10の漢字は、順に、「日」(5925)、「人」(5326)、「大」(4998)、「一」(4830)、「年」(4425)、「本」(4193)、「円」(3791)、「中」(3684)、「分」(3310)、「時」(3136)となる。括弧内は、語彙データの中の総合頻度を表したものである。大きい数値ほど、よく使われていることを意味する。高頻度(1000以上)の漢字の全体415字に占める割合は、 $86/414 \approx 20\%$ である。なお、同一漢字における読み(音訓)の区別はしていない。

※太字は頻度1000以上を示す。

漢字	頻度	漢字	頻度	漢字	頻度	漢字	頻度	漢字	頻度	漢字	頻度	漢字	頻度
日	5925	下	1966	同	1423	込	1048	安	833	線	654	可	535
人	5326	前	1900	心	1373	開	1047	口	830	員	645	常	529
大	4998	目	1891	料	1370	外	1036	区	822	必	636	支	524
一	4830	定	1884	理	1344	面	1033	平	822	設	634	得	522
本	4193	品	1867	車	1316	書	1032	白	810	位	631	段	520
中	3684	部	1799	度	1316	化	1028	向	802	応	627	聞	517
分	3310	性	1778	使	1308	表	1013	考	793	情	623	良	517
時	3136	名	1769	通	1307	味	1001	様	793	有	621	産	516
上	3119	事	1759	付	1300	能	981	連	791	量	614	状	513
月	3038	三	1702	現	1284	数	977	正	789	製	603	確	505
出	3012	体	1670	立	1280	先	977	無	785	足	598	黒	503
子	2993	発	1668	業	1275	記	974	型	777	形	597	赤	503
生	2834	長	1643	水	1256	問	973	保	776	種	596	治	502
間	2691	回	1637	当	1251	意	965	身	774	組	590	質	502
合	2672	後	1612	食	1219	変	953	法	773	石	584	温	494
手	2566	金	1602	成	1217	番	938	式	757	他	579	読	489
自	2547	地	1602	第	1217	原	927	台	752	予	573	交	485
用	2546	全	1588	話	1212	要	920	引	718	館	568	残	482
入	2541	社	1581	機	1182	加	907	決	711	六	563	費	479
会	2511	力	1577	持	1159	着	896	在	698	工	553	由	476
気	2407	実	1560	格	1130	音	889	経	692	解	552	備	473
行	2400	特	1537	明	1129	別	886	送	688	装	549	配	470
方	2307	言	1512	所	1122	点	884	指	686	違	548	報	467
場	2207	内	1501	取	1102	号	880	流	682	土	545	注	465
高	2189	家	1450	電	1073	調	848	受	674	優	544	飛	465
作	2082	動	1450	対	1066	仕	846	続	670	題	539	容	453
新	2004	最	1449	以	1063	不	845	空	665	運	536	置	446

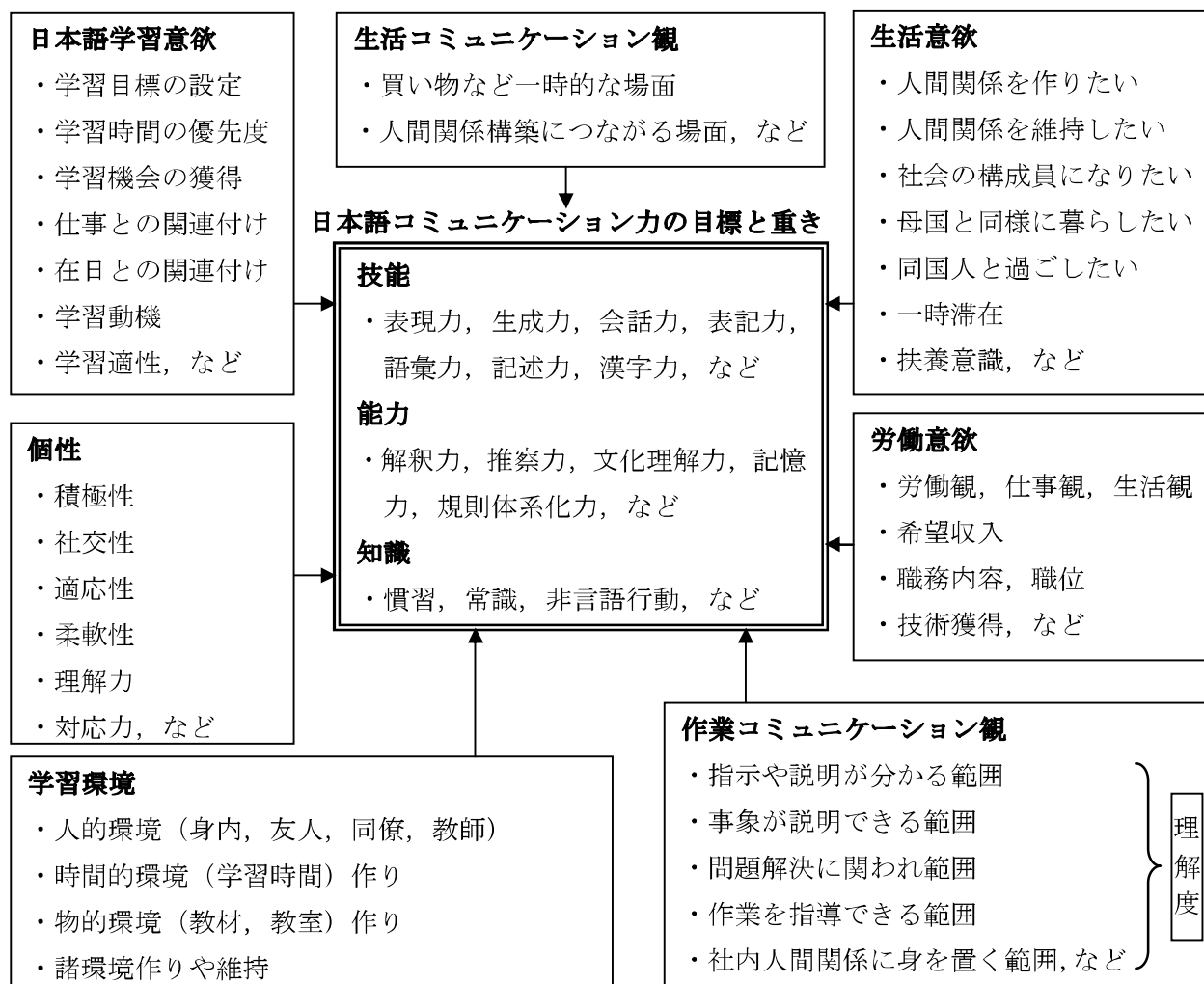
漢字	頻度	漢字	頻度	漢字	頻度	漢字	頻度	漢字	頻度	漢字	頻度
消	438	印	342	異	256	混	197	締	127	禁	62
基	437	載	341	呼	255	案	193	欠	124	却	56
求	436	準	340	証	254	板	193	傾	123	遣	56
早	433	值	340	職	253	裏	192	善	123	缶	55
落	428	等	339	告	250	盤	173	触	121	廢	54
収	425	判	336	茶	250	属	172	箱	120	削	53
打	424	檢	335	納	247	途	172	包	120	依	49
過	420	反	333	清	245	源	170	黄	111	仮	49
供	414	完	332	飲	244	輸	164	勤	111	刷	49
朝	412	惡	329	奧	244	願	163	搭	110	掃	49
終	409	起	323	池	243	券	163	複	104	帽	46
個	408	認	323	止	242	忘	163	了	103	停	43
制	408	割	322	陰	239	給	161	援	98	濯	42
每	408	接	321	換	233	固	160	傷	98	棚	41
轉	406	熱	316	精	228	燃	159	称	95	涉	40
細	402	録	315	非	228	因	158	危	93	淨	40
單	398	濟	313	派	227	補	158	揭	93	怪	39
器	394	角	311	改	223	況	157	慣	92	械	38
待	392	類	308	管	219	戾	157	層	92	潔	38
図	390	御	304	查	217	許	155	遲	91	票	34
拔	386	習	304	導	217	更	154	荷	90	暇	31
返	386	客	301	減	216	降	154	推	90	磁	30
夜	381	防	298	充	215	從	150	損	90	括	28
象	376	級	293	規	213	策	147	礼	90	頻	22
役	376	放	288	替	211	操	147	繼	88	署	21
販	374	件	279	系	208	護	146	弁	86	憩	19
構	372	再	278	守	207	絡	145	排	84	棄	17
声	371	程	278	修	206	昼	144	干	82	爪	17
速	371	湯	277	処	205	刻	143	警	80	箇	14
路	369	整	275	提	205	退	143	承	80	搬	10
専	365	議	274	般	205	吸	142	縮	78	該	9
示	364	断	273	端	203	脱	141	捨	74	頓	7
休	358	階	272	除	202	屈	140	斜	74	箔	7
造	352	紙	272	施	201	倒	138	裁	70	洩	6
短	349	標	269	順	201	照	136	項	69	梱	5
宇	347	洗	263	移	200	我	133	軸	69		
両	346	週	262	堂	199	破	133	貸	66		
具	345	庫	259	賴	198	嚴	128	貼	65		

【(6) の総括】

1. 語彙を構成する漢字の使用頻度は低いものが多い。語彙は親密度が中位レベル（4～5）のものが多い。また、親密度データに使われなかった語彙は少ない。
2. 語彙を構成する漢字の読みは、音読みが多く、訓読みは少ない。
3. これらの語彙は、掲示、文書等で読み、理解する必要があるものである。特に、カタカナ語、英語は、話し、聞くことが多いが、その語彙数は漢字語の約 50%，そのうち約 25%は、親密度データにはない。
4. 特殊語は、辞書的な意味では使われず、この職場特有の使われ方をする。したがって、使用頻度、親密度のデータには該当しない。

9. 結果のまとめ

日本語コミュニケーション力の強化には、学習者個々の目標・重き、特性、心的態度・心理などが深く関係する。各調査から、日本語獲得を取り巻く要素を下記のように考える。「・」で示した各項目は例示である。日本語学習者と正面から向き合い、諸要素を十分把握してから指導を考える必要がある。



10. 学習支援に向けて

言語調査から得た前項9, 全総括, 他の知見を踏まえて, 日本語学習支援という点から整理をし, その結果をポイントとして下記に挙げて, 言語調査の報告及び研究部会への報告を終える。

1) 日本語教育カリキュラムを検討する上で, 仕事に必要なコミュニケーション力, 仕事以外に必要なコミュニケーションのとらえ方, 強化する日本語力(語彙力, 会話力, 説明力など)の対象, 学習者の抱える諸要素について, 十分な吟味をし, 指導方法を工夫する柱となる基盤資料を作成する。

(A) 学習者の動機, 情意を配慮した上で, 適正処遇交互作用を導入した指導方法に関する資料

※適正処遇交互作用(ATI : Aptitude Treatment Interaction): 個人差に対応しようという学習理論。適性とは, その学習者の趣味や意欲, 能力差, 内向的か外向的かといった性格などを指す。全ての学習者に適応する学習指導法ではなく, 一人一人の適性に応じてその方法を変えるのが良いとするクロンバックの理論。学習目標は全体で設定し, そこに達成させるために個に応じて学習指導方法を変える。

(B) 効率的に学習するために, 使用語彙, 理解語彙の情報を中心とする語彙に関する資料

(C) 学習意欲, 学習目標, 心的態度, 適性の差異を考慮した授業プランに関する資料

(D) プロジェクトワーク, シミュレーション, ロールプレイ等の実践的な活動に関する資料

2) 過去の日本語教育の知見から前項の諸要素を考慮した指導事例, 学習事例を収集し, 日本語指導者用マニュアルを作成し, それをもとに日本語を教える人に対して, 例えば以下のような教材を作り, 研修を行う必要がある。

(A) 活動タスク, タブーなどの事例集

(B) 作業におけるコミュニケーションに関する Can Do Statement (能力指標)

(C) プロジェクトワーク, シミュレーション, ロールプレイ等の実践的な活動と学習内容や指導ポイントを系統樹図化した資料集

(D) 学習者のための『入郷随俗』(全国社会福祉協議会), 『地球の歩き方』(市販本)のようなハンドブック

3) 操作マニュアルではなく, 正確さ, 緻密さ, 臨機応変さなど, 仕事上で求められることに関する作業マニュアルの作成が必要である。

(A) 情報の優先順位付け (Information, Announcement, Intelligence の違い) ハンドブックの作成

(B) (A) 関連付けて, 提供情報に使う言語の選別基準 (日本語・翻訳語, 慣用表現・平易表現)

【参考】

以下は, 今回の録音調査, 面談調査の文字化資料をもとに, 作業におけるコミュニケーション場面での発話力に焦点を当てて, レベル分けを考えた試案である。今回の調査対象者の発話を, このレベルに照合すると, レベルFが1名, レベルGが2名, 残り12名がレベルHからJとなる。記述力, 解釈力, 表記力などでも, この種のレベル分けを作り, 日本語教育カリキュラムを作る必要がある。

レベルA

発話能力はネイティブと同等であり、日本人の言語表現文化も完全に理解している。柔軟性と直観力を持ち、語彙、慣用表現、話し言葉特有の表現を使い切る／使い分けることができ、文化的知識を幅広く理解できる。日本語の発音、発声、抑揚、アクセントもネイティブと同等である。

レベルB

発話能力は、ネイティブと同等である。語彙、慣用表現、話し言葉特有の表現が理解でき、使い分けて日本語を話すことができる。日本語の発音、発声、抑揚、アクセントもネイティブと同等である。日本語を使用して行う業務でも支障なくこなせる。しかし、文化的知識はネイティブレベルではなく、語彙、慣用表現、話し言葉特有の表現の使い切りは十分ではない。

レベルC

業務上必要とされる日本語を流暢に使って目的を達成できる。会話を円滑に構築することができ、仕事上で日本語が支障となることはないが、ネイティブと間違えられることはない。経験のある範囲内であれば、詳細に話をするすることができる。予期せぬ場面でも通訳の役割を果たすことができる。自分の専門に直接関係しない業務まで日本語で対応できる。語彙、慣用表現、話し言葉特有の表現を使い切ることは十分ではない。

レベルD

業務上は問題がない。構文の正確さや語彙力は十分ある。実用的、社交的、専門的な会話に対応でき、会話にはまとまりがあり、会話を始めることができる。明らかに不完全と認められる箇所があるが、ネイティブの理解を妨げるものではない。構文や語彙を組み合わせ、言いたいことを伝えることができる。外国人と分かる発音がある。単音や単語は正確に発音できるが、アクセントの位置や抑揚に不自然さがある。

レベルE

業務上必要なやり取りがほとんど問題なくできる。関心のある事柄や専門分野に関する話題であれば、効果的に意思の疎通を図ることができる。しかし、それ以外では、緊張したりプレッシャーがかかったりすると、うまくは話せない。言葉の選び方や自分の考えの表し方がぎこちなく、時と場所、人に関する表現については、必ずしも完全な誤りではないが、しばしば不適切となる。

レベルF

一定の範囲内であれば、業務上のルーティーンワークに関連したやりとりができるが、複雑で高度な業務では、ネイティブとの会話に支障がでる。よく話される話題（社会問題、仕事、家族や自分の生い立ちなど）であれば、円滑ではないが、自信を持って対応できる。発話は、最低限ではあるが、まとまりがある。文の構成はあまり複雑でない。使用頻度の高い言葉は正しく使うことができるが、それ以外は、不適切な使い方や不正確さがある。

レベルG

予測可能な範囲の話題であれば、対面式の会話を自分から始めたり、継続したりすることができる。社会生活上の自分のニーズも満たせる。言語知識が不足しているため、話が滞る。使いこなす力は低く、話せる範囲は狭い。話は短く、細切れの表現をつなぎ合わせたものであることが多い。

レベルH

日常の挨拶ができ、対面であれば、馴染みのある話題については簡単な会話を維持できる。日本語の運用能力はあるが、範囲は限られている。誤解したり、されたりするが、対面であれば、ネイティブの発言内容を確認したり、質問することで解消できる。継続的に自分の考えを言葉で伝えることはできない。ネイティブは、状況判断や話者の発話背景などを推測しながら内容を理解しなければならない。

レベルI

練習しておけば、当面のニーズは満たせる。覚えた語彙、表現や決まり文句を使って質問したり、発言したりすることはできる。自分の考えを表現する、柔軟に即応して会話をすることができず、自分の言葉では話することはままならない。

レベルJ

話し言葉として成り立たない。単発的に単語を発する程度で、会話は断片的である。